

スズキ、フランクフルトモーターショーで、 新型コンパクトカー「Baleno(バレーノ)」を発表



スズキ株式会社は、2015年9月15日^{※1}から開催されている第66回フランクフルト国際モーターショーで、新型コンパクトカー「Baleno(バレーノ)」を発表した。

9月15日に行われた記者発表会において、鈴木俊宏社長は「『Baleno』はデザインと実用性、および走行性能と環境性能において優れており、全てにおいてお客様がコンパクトカーに期待する価値を超える車である。」と述べた。

「Baleno」は、スタイリッシュなデザイン、広い室内空間、新技術を調和させた、スズキが考える理想のコンパクトカーである。「Liquid Flow(リキッドフロー)」をテーマにデザインしたエクステリアと、広い室内空間、高効率パワートレインを融合させ、新プラットフォームにパッケージングした。デザイン・実用性・操縦性・走行性・燃費というコンパクトカーに必要とされる要素を提供するとともに、大人でも十分ゆとりのある前後席空間とクラストップ^{※2}の荷室容量により、長距離移動でも快適性を実現している。

スズキは2016年春より欧州で「Baleno」の販売を開始する。

●「Baleno」の特長

- ・燃費・操縦性・安定性を向上しながら、高レベルの安全性と快適性を達成した、高剛性で軽量な新プラットフォームを採用。
- ・低燃費を実現する、新開発 1.0L 直噴ターボガソリンエンジン「BOOSTERJET(ブースタージェット)」、1.2L「デュアルジェット エンジン」、マイルドハイブリッドシステム「SHVS」を搭載した 1.2L「デュアルジェット エンジン」の3種類のパワートレインをラインアップ。
*SHVS=Smart Hybrid Vehicle by Suzuki
- ・「Liquid Flow(リキッドフロー)」をテーマにデザインしたエクステリアは、凝縮したエネルギーを前へ解放するイメージで、車両全体に流れるような線や面を施すと同時に、全高を抑え、全幅を広くとったスポーティーでありながらも優雅なスタイリングとした。
- ・インテリアは、前席ショルダー룸と後席レッグルームに十分なゆとりを確保し、多彩なアレンジが可能な荷室スペースはクラストップ^{※2}の 355L^{※3}の容量を確保。
- ・ミリ波レーダー方式による衝突被害軽減システム「レーダーブレーキサポート」や、レーダーで前方車両との距離を測り自動で加減速するアダプティブクルーズコントロールのほか、車と iPhone^{※4}を連携させる Apple CarPlay^{※4}対応のスマートフォン連携ディスプレイなどの先進技術を採用。
- ・全長 3,995mm × 全幅 1,745mm × 全高 1,470mm (SHVS搭載車は 1,460mm)

※1 プレスデー:9月15、16日、一般公開日:9月17～27日

※2 Bセグメントハッチバッククラス(全長3,700～4,100mmのハッチバック)。2015年9月現在、スズキ調べ。

※3 荷室容量はVDA(ドイツ自動車工業会)の定めたトランク容量測定値。

※4 iPhone および Apple CarPlay は、Apple Inc.の商標。